

## 21年度拠出金・交付金収支の現状を報告

保険財政共同安定化事業・高額医療費共同事業委員会



保険財政安定化共同事業・高額医療費共同事業委員会を、12月2日（水）、府国保連合会で開催した。



本会草木事務局長の開会挨拶のあと、委員改選により、委員長に木津川市国保医療課の市川課長、副委員長に伊根町住民生活課の芦原課長を選出した。任期は平成21年4月1日から平成23年3月31日まで。

委員長の議事進行で協議に入り、事務局は平成20年度事業結果報告で、高額医療費共同事業交付金の『負』については、前期高齢者財政調整金が高額医療費共同事業交付金を上回り、最終的に交付金が『負』となったため、交付金の戻入として処理を行ったと説明した。平成21年度事業については新・共同電算処理システムへの移行にともなう各種様式の変更および拠出金・交付金収支の現状を報告した。

平成22年度拠出金見込みについては、保険財政基盤安定化事業見直しの方向が国から示されていないことに加えて、診療報酬改定もあるため情報提供のみを行った。